

②時間軸を見据えたわかりやすい小児歯科医療を目指して

—My Management Map 2012 包括的な口腔管理から咬合治療のあり方までを考える—

イシタニ小児・矯正歯科クリニック（鹿児島県始良市）

石谷 徳 人

お子さまが生涯にわたって快適な口腔環境で生活していくために、個々の時間軸を見据え、継続的に口腔管理を行うことが、私の小児歯科医として課せられた責務であると考えております。現在、継続的な管理の中で起こる様々な歯科的問題について、自身の臨床をわかりやすくするために、当クリニックで考案した My management map と呼ばれる口腔管理の見取り図を活用しております。さらに、コ・デンタルスタッフと患者さま、保護者の方に口腔管理を視覚的にとらえて頂くことによって、相互で問題に取り組む意識を向上させ、継続的に来院して頂くことも目的としております。

そして、口腔管理の中で特に大きな介入となり得るものが咬合治療です。成長発育期に咬合

治療を行う場合には、咀嚼機能の健全な発育を促進させ、成長後の機能的かつ審美的な永久歯列咬合に寄与するものでなければなりません。例えば、非抜歯を目指すという考え方のみで早期治療を請け負うことは、本来の目標を見失い、かえって問題を複雑化する場合もあると考えております。

我々が必要な時期に必要な専門医療を提供するためには、自己の研鑽や他科との連携は言うまでもありませんが、包括的な口腔管理の中で様々な問題を先送りせず、明確化かつ単純化して解決へと導くことが大切であると考えております。

次へのライフステージに良いバトンを渡すために小児歯科医が為すべき医療とは何か—みなさまと一緒に考えて参りたいと思います。